



郷土資料館増・改築工事完了再オープン	P-1
企画展「村の小さな博物館のポンペイ展」開催	P-1
黒岩隆徳氏・下谷紀子さん・安濟永伸氏赴任	P-2
令和4年度友の会総会の開催	P-2
令和4年度婦恋学講座の開催	P-3
ボランティアガイド養成講座の開催	P-3
村の小さな博物館のポンペイ展啓発講演会開催	P-3
婦恋高校生学習来館・資料館周辺の落ち葉拾い	P-4
婦恋村の文化財(9)黒色磨研注口土器・お知らせ	P-4

浅間山 浅間牧場から

編集 婦恋郷土資料館友の会

2023年6月発行

第37号

婦恋郷土資料館 友の会だより

婦恋郷土資料館「友の会」（宮崎光男会長）では、新型コロナウイルス感染状況も好転の兆しが見え様々な事業予定が計画されております。今回の「友の会だより」第37号では令和5年前半のイベントや活動をダイジェストとしてご紹介いたします。

婦恋郷土資料館の増・改築工事が完了、4月10日より再オープンしました



昨年9月より閉館して進めていました郷土資料館の増・改築工事が完了し、4月10日(月曜日)より資料館が再オープン致しました。増築部分は玄関、事務室・研修室・会議室・収納庫計148.95m²、改築部分は玄関脇ロビー・事務室・ホール・化粧室・企画展示室計194.61m²となっています。4月6日(木曜日)には友の会会員向けに内覧会が開かれ多くの方々に参加いただきました。玄関部分には八角形を模した屋根が新設され、雨天などの際には便利になりました。また、玄関を入ったホールは広く、開放的で明るい印象となっています。

2023年度企画展「村の小さな博物館のポンペイ展」が開催されています

昨年、イタリアのポンペイ市と婦恋村で結ばれました友好都市協定に基づくポンペイ市交流展2023の一環と資料館の増・改築完成を記念して4月28日(金曜日)から12月26日(火曜日)まで「村の小さな博物館のポンペイ展」が開催されています。関俊明館長の解説を盛り込んだポンペイ市×ヴェスヴィオス山と鎌原村×浅間山の共通項を紹介する展示会です。展示内容は、栄光の街・古代都市ポンペイ・埋没させたヴェスヴィオス山の噴火とその後のポンペイ・ポンペイを訪ねた上州人・石膏人型レプリカ・石膏型が「瞬間」をよみがえらせた(石膏の秘密)・くらべてみたら「VESUVIO×PONPEI/浅間×鎌原村」・ポンペイ展「余祿の壁」と多岐にわたった展示・資料が新しい展示室でご覧いただけます。



新しく黒岩隆徳氏が赴任されました



4月1日付けで資料館に配属されました黒岩隆徳です。主に文化財の担当をしております。以前、平成21年から平成24年までの3年間、資料館に在籍していましたが、当時とは変わっていることもあり、前の記憶をたどりながら、また、新しいことは職場の仲間や関係の皆様にご教示いただきながら何とか仕事を進めております。孺恋村には後世に伝えていくべき大切に貴重なものが数多くあります。孺恋村の宝を守っていくため、これからもご指導くださいますよう、お願いいたします。

(黒岩隆徳氏記)

下谷紀子さんが新しく赴任されました



4月から会計年度職員としてお世話になっています。改装されて綺麗になった資料館で、郷土愛に満ち溢れた方々にご教授いただきながら仕事をさせていただけて光栄です。学童の仕事もさせていただいておりますので、不在の時間も長く、分からない事ばかりで、ご迷惑をおかけしてしまう事も多々ありますが、少しでもお役に立てるよう精進していく所存です。災害から学んだことを後世に伝える資料館の大切さを改めて感じています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(下谷紀子さん記)

安濟永伸氏が新しく赴任されました



4月から土日勤務としてお世話になっております。資料館発行の「災害と復興 天明三年浅間山大噴火」で興味が湧き、家にあった発掘の報告書などを再読していたところに関館長より勤務のお声がけをいただきました。勤務を通じ関係皆様の教示も得ながら、噴火災害や鎌原のあゆみなども学べたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(安濟永伸氏記)

令和4年度資料館友の会総会が開催されました

2023年3月28日（火曜日）孺恋村地域交流センターにて令和4年度資料館友の会総会が14名の会員及び事務局出席のもとで開催されました。令和4年度友の会事業報告、令和4年度会計収支決算並びに会計監査報告、令和5年度事業計画案、令和5年度会計収支予算案が説明され、参加者全員の承認で決議がなされました。その他、新型コロナウイルス感染状況の好転に伴い、ガイド研修の質向上、会員同士の交流の促進、観光促進のアイデアなどの提案が出されました、事務局としても皆様方より幅広くご提案をいただきたいとのことです。なお友の会員総数はこの時点で48名との報告がありました。本総会資料、議事録は別途会員の皆様方にご送付いたしております。会則が改正され、会費納入のなされていない方は退会扱いとなりますので、継続加入をご希望される会員の方々は会費納付のほどお願い申し上げます。

令和4年度孺恋学講座が開講されました

孺恋会館3階にて令和4年度村民教養講座4講座が開講されました。

- ・「浅間牧場はなぜ県有地になったのか」 2023年2月12日（土曜日）13:30より
講師 下谷通 氏 39名の参加をいただきました
- ・「浅間山に三筋の煙は立つか」 2023年2月19日（土曜日）13:30より
講師 古川広樹 氏 10名の参加をいただきました
- ・「孺恋の伝統食【くろこ】をたべてみよう」 2023年2月26日（土曜日）13:30より
講師 土屋茂次 氏 13名の参加をいただきました
- ・「孺恋村の豊かな自然と蝶たち」 2023年3月5日（土曜日）13:30より
講師 宮崎光男 氏 19名の参加をいただきました

令和5年度郷土資料館ボランティアガイド養成講座が開かれました。



5月14日(日曜日)郷土資料館ボランティアガイドの養成講座が開かれました。冒頭に関館長より、資料館を個人で訪れたある報道関係者の方より、ボランティアガイドの解説が良かった、との言葉をいただいたとの説明がありました。今回の養成講座にはガイドを希望する新しい方の参加はありませんでしたが、小宮ボランティアガイド会副会長の下、ガイド間での研修を重ねる養成講座となりました。ガイドに興味を持たれました方、いつでも、どなたでも資料館ボランティアガイド会までお申し出ください。

「村の小さな博物館のポンペイ展」関連啓発講演会が開催されました

- ・第一回 講演「ポンペイ遺跡の魅力ー発掘調査に従事して」
開催日時:6月3日(土曜日) 13:00~15:00 孺恋村地域交流センター
(台風2号の影響でビデオ講演となりました)
講師:同志社大学講師(非常勤) 坂井聰 先生
- ・第二回 講演「災害と遺跡」
開催日時:6月17日(土曜日) 13:00~15:00 孺恋村地域交流センター
講師:文化庁 主任文化財調査官 近江俊秀 先生
- ・第三回 シンポジウム 開催日時:6月24日 13:00~16:00 孺恋村地域交流センター
第一部 講演「自館を誇る」
① 中之条町歴史と民族の博物館ミュージエ 山口通喜 館長
② やんば天明泥流ミュージアム 古澤勝幸 館長
第二部 パネルディスカッション「私たちの博物館の可能性」
パネリスト:山口通喜氏×古澤勝幸氏 ファシリテーター:関俊明氏

孀恋高校1年生生徒さんが実践教育の一環として資料館を訪問されました



地元、孀恋高校と郷土資料館と連携した初めての実践教育の試みです。歴史的観点から孀恋村を知ること、ボランティアガイドとの交流で地域との関わりを広げること、孀恋村を人に伝えるポイントを習得することを目的とする学習計画となっています。6月6日(火曜日)には1年生13名が先生方と共に郷土資料館を訪れ、ガイドからの説明による実践授業を実施いたしました。今後、まとめとして詳細な解説点、疑問点、質問点の討議を生徒たちとボランティアガイド間で進めていきます。

郷土資料館周辺の落ち葉拾いを行いました

晴天に恵まれました、4月25日(火曜日)郷土資料館周りの落ち葉拾いを11名の参加をいただき、行いました。結構な落ち葉の量で、軽トラック山盛りの落ち葉が集められました。植木内、溝がすっきりきれいになりました。皆様方、お疲れさまでした。



連載(9)孀恋村の文化財 黒色磨研注口土器 (群馬県指定 重要文化財)



黒色磨研注口土器の出土状態

平成5年から発掘作業が始まった孀恋村今井字峯地内に所在する縄文時代の東平遺跡、配石遺構下から発見されたのが2個の「黒色磨研注口土器」です。お墓の副葬品とみられています。土器は精良な胎土で形造られ、仕上げには更に微細な土を塗り研磨の上、数条の並行沈線による曲線と「の」の字状の彫刻状文などが付けられています。土器の焼成は、その過程で土器表面に炭素を付着させて黒色に仕上げられています。大きい方は高さ23cm、小さい方は16cm、それぞれ幅と高さの比は1対1.4($\sqrt{2}$)となっており、きわめて均整のとれた形状を呈しています。私達は現代の生活でも、毎日のように

1対 $\sqrt{2}$ の形をしたものを利用しています、それは、用紙のサイズであるA4、このサイズは1対 $\sqrt{2}$ の比率(白銀比率とも呼ばれる)になっています。また、日本家屋の二重屋根の幅、窓枠、六畳間などにこの比率が見られます。ドラえもんとかハローキティちゃんのアニメキャラクターもこの比率で描かれています。この土器は縄文時代後期、3500年前の制作と推定されており、現代にも通じる美的感覚を備えた原始美術品として高く評価されています。孀恋郷土資料館の新しい展示室内に常設展示されています。

(松島榮治元孀恋郷土資料館名誉館長が小雑誌「ぐんま地域文化」に寄稿された「孀恋村の原始・古代」を参考といたしました。)

お知らせ

令和5年度「鎌原地区発掘調査」に関してのご案内

- ・7月中旬から延命寺遺跡裏手の発掘調査予定 7月中旬から、夏休み期間の公開を予定しています。
- ・現地説明会及び鎌原地区ガイド案内 8月6日(日曜日)午前10時・午後1時30分より予定しています。